

第 20 回 卒業制作ファッションショー

【指導教員の挨拶】



今年で 20 回目となるファッションショー。ファッションが大好きな学生たちですが、制作となると話は別で、ミシンやアイロンとの格闘は筆舌に尽くしがたいものがありました。

「イメージをかたちに」を合言葉に制作を進めてきましたが、その過程で一人ひとりが学んだこととは一体、何だったのでしょうか？

理想と現実の狭間で揺れ動く自身のこころ、美のはかなさと冒険性、願望と挫折、様々な克服の過程で得たものは、やはりファッションへの「愛」ではないでしょうか。

一人ひとりのファッションへの想いが一段と熱くなって、全員が一つとなって見事なステージを作り上げることができました。ランウェイを歩く姿は実に堂々としていました。

2年間の集大成としてふさわしいショーであったと思います。

田中美貴(コミュニティ生活学科教授)

【リーダーの挨拶】

本日はお忙しい中、私たちのファッションショーにお越しいただき、本当ありがとうございます。

きっと私だけではなく、みんなそれぞれとても緊張したのではないかと思います。楽しんで見ていただけていたら嬉しいです。

約2年間この広島文化学園短期大学で、技術だけでなく様々なことを学びました。またまわりの友達、時に友達のように親身になって話をしてくださった先生方がいてくれたおかげで、少しは私自身も成長できたのではないかと思います。

そしてなにより、一番そばで支えてくれたお母さんお父さんに感謝しています！

最初はワンピースを作ることも苦戦していた私たちがここまで頑張れました。夜遅くまで残って製作をしたり、カラードレスのメンバーで踊ったダンスは、私にとって何よりの思い出です。練習時間が本当に少なく、わかりやすく教えようという気持ちと早く完成させなきゃという思いが重なって、みんなも困っていたと思うのですが、本当にこのメンバーはだれ一人嫌な顔せずついてきてくれて、最後までずっと楽しく練習できました！みんな本当にありがとう！

今日は本当にありがとうございました！

橋本真子(コミュニティ生活学科2年/広島国際学院高等学校出身)

